

【議題】介護保険施設等の整備計画について

- (1) 一宮市から、公募による混合型特定施設入居者生活介護（定員60人）の指定について事前相談票が提出された。

法人名	公募により整備予定者を選定する
法人所在地	
整備予定地	一宮市内
整備予定定員	60人（整備枠42人）
開所予定	平成33年3月

- (2) 株式会社シアフル大野から、一宮市内での混合型特定施設入居者生活介護（定員30人）の指定について事前相談票が提出された。

法人名	株式会社シアフル大野
法人所在地	一宮市大和町福森字郷中58番地2
整備予定地	一宮市大和町福森字郷中58番地2
整備予定定員	30人（整備枠21人：住宅型有料老人ホームの転換）
開所予定	平成30年10月

- 本計画は、平成30年度の整備目標（整備枠50人）を超える63人であるが、計画最終年度の整備目標（整備枠90人）の範囲内である。
- 介護保険施設等の指定等に関する取扱要領*第5第1項第二号の規定に基づき、平成30年7月31日に開催した「尾張西部圏域保健医療福祉推進会議研究会」において、圏域内の全市（一宮市、稲沢市）から前倒し整備の了解が得られている。

＜※＞介護保険施設等の指定等に関する取扱要領（抜粋）

（意見聴取及び連絡調整の基準）

第5 第4第1項の規定により提出のあった事前相談票に係る意見聴取及び連絡調整の基準は、次の各号に定めるところによる。

- 一 法第118条に基づく都道府県介護保険事業支援計画（以下、「県計画」という。）におけるそれぞれの施設種別（介護老人福祉施設と地域密着型介護老人福祉施設は区別する。）の老人福祉圏域（以下「圏域」という。）毎、年度毎の整備目標値（必要入所定員総数又は必要利用定員総数）から既存数を差し引いた数の範囲内であること。
- 二 前号の規定にかかわらず、施設等の円滑な整備の促進のため、圏域内の原則全市町村が前倒し整備を必要と認める場合には、県計画の当該計画期間の期間内であり、かつ圏域毎に最終年度の整備目標値から既存数を差し引いた範囲内であること。